

2018年 3月20日

シェーンブルン宮殿の庭園の自然美を伝統的な象嵌細工で描き出した華やかな限定モデル

Bösendorfer

ベーゼンドルファー グランドピアノ 『Dragonfly』

－ エレガントな佇まいにふくよかな響きを備えサロンコンサートにも最適なピアノ、本日より発売 －

株式会社ヤマハミュージックジャパン（注1）は、ヤマハ株式会社の100%子会社であるL. Bösendorfer Klavierfabrik GmbH（注2、以下ベーゼンドルファー）のグランドピアノ限定モデルとして、『Dragonfly（ドラゴンフライ）』を3月20日（火）に発売します。



<価格と発売日>

品名	品番	価格（税抜）	発売日
ベーゼンドルファー グランドピアノ	Dragonfly	20,000,000円	3月20日（火）

◎販売予定数：全世界合計 18台

<製品の概要>

このたび発売する『Dragonfly』は、ベーゼンドルファーピアノの人気モデルである「モデル 200」をベースに、ヨーロッパの伝統的な象嵌細工の手法を用いた繊細な装飾を大屋根の内側に丁寧に施した、全世界 18 台限定のモデルです。大屋根の内側に描かれたトンボと花々の優雅なデザインは、オーストリア・ウィーンにあるシェーンブルン宮殿の壮麗な庭園を彩る動植物をモチーフとしています。また鍵盤左側の拍子木部分にシリアルナンバーの入った真鍮プレートをはめ込み、限定モデルに相応しい特別な仕上げとしました。

「モデル 200」の特徴である調和のとれた音色とふくよかな響きはそのままに、エレガントな佇まいを兼ね備え、サロンコンサートやレセプションなどおもてなしの空間にも最適なピアノです。

詳細は以下の通りです。

<主な特長>

1. ヨーロッパの伝統的な技法を用いて描かれた優雅なデザイン

グランドピアノの大屋根の内側に、異なる種類の木を使用したヨーロッパの伝統的な象嵌細工の技法による繊細な装飾を丁寧に施し、華やかな仕上がりで気品のある佇まいを実現しました。大屋根の内側に描かれているデザインは、皇妃マリア・テレジアとその夫である神聖ローマ皇帝フランツ 1 世の夏の離宮として知られるシェーンブルン宮殿のシンボルとも言える壮麗な庭園から着想を得たものです。色付けした木材に焼いた砂で焦げ色をつけて陰影をつける伝統的なサンドシェーディング技法を用いて、トンボとアザレアの花々のモチーフを優雅に表現しています。



2. シリアルナンバー入りの真鍮プレート

鍵盤左側の拍子木部分には、モデル名であるトンボ（英語で”Dragonfly”）のデザインとシリアルナンバーが刻印された真鍮のプレートがはめ込まれ、限定モデルに相応しい特別感を演出します。



3. オーストリアの職人により丁寧に作り込まれたピアノ

『Dragonfly』のベースとなっているグランドピアノ「モデル 200」は、ベーゼンドルファーのラインアップの中で世界的に最も人気のあるグランドピアノです。余裕のあるふくよかな響きと音色を備え、弱音から強音まで幅広く表現できるバランスの良さと、調和のとれた和音の響きが特徴です。すべてのチューニングピンに1本ずつ独立して弦を張る「総1本張り」の手法によって音程の安定性を高めているほか、低音部の弦に手巻きの巻き線を採用し、響板を含め楽器全体の85%以上に高品質なスプルース材を使用。オーストリアの熟練した職人の手作業で時間をかけて丁寧に作り込むことで、「ウィンナートーン」と呼ばれるベーゼンドルファー独自の豊かな響きを生み出します。

<主な仕様>

寸法（間口×奥行×高さ）	151cm×200cm×102cm
重量	353kg
鍵盤数	88 鍵
ペダル	3 本（ソステヌートペダル付）
付属品	高低自在椅子

※受注生産品のため、ご注文から納品まで1~3ヶ月ほどかかります。

<注>

1) 株式会社ヤマハミュージックジャパン

日本国内における楽器・音響機器卸販売および教室事業を行うヤマハ株式会社の100%子会社。
本社：東京都港区。

2) L. Bösendorfer Klavierfabrik GmbH（ベーゼンドルファー社）

プレミアムピアノの製造・販売を行うヤマハ株式会社の100%子会社。1828年にウィーンで設立。
本社：オーストリア・ウィーン・ノイシュタット。

<ご参考>

ベーゼンドルファーピアノについて

ベーゼンドルファーピアノはリスト、ブラームス、ヨハン・シュトラウス、ブゾーニなど、数多くの偉大な作曲家や演奏家に愛され続けてきました。ベーゼンドルファー社は1828年にウィーンの職人イグナツ・ベーゼンドルファーによって設立され、1839年にはオーストリア皇帝から初めて「宮廷及び会議所ご用達のピアノ製造業者」の称号を授けられました。創業当時オーストリアには200を超えるピアノ製作会社があったと言われていましたが、ベーゼンドルファーのみが今もおピアノをつくり続けています。その長い歴史の中で音楽家たちの様々な意見や要望に応え続け、「ウィンナートーン」と呼ばれる独特な美しさを持つ響きの個性を磨き上げてきました。ベーゼンドルファーは伝統的なピアノづくりの手法に従い、創業から今日まで累計約51,000台を製作、現在は年間約300台のペースで製作しています。一台一台魂を込め、オーストリアの職人たちの手で長い時間をかけて製作することにより、演奏者と聴衆の心を惹きつける深い響きと多彩な表現力を生み出し、特別な存在感を実現しています。

- ベーゼンドルファー製品サイト <http://boesendorfer.jp/>





ベーゼンドルファー グランドピアノ 『Dragonfly』

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 ブランド・商品広報グループ 担当：橋本

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン ベーゼンドルファージャパン

TEL 03-6681-5189